

個別食品中のアルミニウム含有量調査について

厚生労働省医薬・生活衛生局
生活衛生・食品安全部基準審査課

1. 調査の目的

平成 23 年度に実施された加工食品由来のアルミニウム摂取量に関するマーケットバスケット調査で、アルミニウム摂取量の寄与率の高かった食品群について、アルミニウム含有量を把握することを目的に、平成 24 年度に調査を実施した。

2. 調査方法

マーケットバスケット調査においてアルミニウム摂取への寄与率が高かった食品群（1 群：調味嗜好飲料、2 群：穀類、6 群：砂糖類、菓子類）の個別食品を関東（東京都）の小売店で購入し、アルミニウムの含有量の分析を行った。

3. 調査結果

食品 1 kg 中のアルミニウム含有量は、1 群では、カレールウ (10.70 mg/kg)、ミルクココア (9.69 mg/kg)、インスタントコーヒー(粉末) (6.12 mg/kg)、2 群では、天ぷら粉 (222 mg/kg)、菓子パン類 (27.2、156 mg/kg)、あんまん (59.2 mg/kg)、6 群では、ケーキドーナツ (1.53~258 mg/kg)、蒸しまんじゅう (0.95~172 mg/kg)、バターケーキ (<0.3~116 mg/kg) であった。(各群で食品中の濃度が高い順)

なお、本調査は、関東（東京都）の小売店で購入した一部の食品におけるアルミニウムの分析結果を示したものであり、全ての製品について、この結果が当てはまるものではないことに留意が必要である。